

平成30年度 区政会議における意見への対応状況

第 1 回区政会議(平成30年6月)

いただいた意見				対応状況							
番号		意見	委員名	担当課	①		②		③	④	対応内容 (③④の場合は、対応できない具体的な理由)
					30年度対応		31年度対応		31年度では対応できないが今後引き続き検討	対応困難又は対応不可	
						予算措置		予算措置			
1	にぎわい・きずな部会	災害時避難所の運営方法について、ペットの連れ込みをどうするのかなど、ある程度一線を画するようなことを決めておくためにも、区役所が率先してガイドラインを作成するべきではないか。	藤溪委員ほか1名 [貝本委員]	市民協働課	○	なし	○	なし			・災害時避難所の運営方法については「避難所開設・運営ガイドライン（H29年5月）」が策定されています。 ・同ガイドラインでは、ペットは飼い主にとっては大切な存在と示されている一方、動物が苦手な人やアレルギーを持っている人と共同生活を送ることとなるため、避難所運営委員会において、事前にルールを決めておくことが重要とされています。 ・今後、自主防災組織等で同ガイドラインを活用しながら災害時避難所の運営ルールづくりをお願い致します。
2	にぎわい・きずな部会	防犯カメラの設置について、以前に部会意見として防犯カメラが設置してあるところ分かるマップを作成すれば、犯罪抑止になるのではないかと言っていたが、マップを作ることでメリット、デメリットがあるので作成についての検討が必要ではないか。	藤溪委員ほか1名 [井上委員]	市民協働課		なし		なし		○	・防犯カメラについては、設置個所を公表することが必ずしも犯罪抑止になるとは限らず、むしろカメラを避けて犯罪が発生するといったことが危惧されるところです。犯罪の抑止には、地域住民の皆様方のお互いの見守りといった地域防犯力が大事とされています。 ・区役所としましても青パトによる巡回や警察と連携して防犯啓発に取り組みます。
3	にぎわい・きずな部会	防犯カメラの設置について、設置費用は事業者負担で防犯カメラ付き自動販売機を各公園に設置するということなので、今後、公園での安全が確保されるのではないか。	藤溪委員ほか1名 [中谷委員]	市民協働課	○	あり		なし			・防犯カメラ機能がついた清涼飲料水自動販売機の設置については、区内の都市公園のうち、公園愛護会など地域の理解が得られた公園で、設置の要件が整った公園について、公募により事業者が設置するもので平成30年度に完了予定です。 ・これにより公園での見守り機能強化と犯罪抑止に寄与するものと考えています。
4	にぎわい・きずな部会	まちの魅力向上について、東成区がモノづくりのまちだということのPRが足りない。もっと広報で宣伝するべき。	藤溪委員ほか1名 [井上委員]	市民協働課	○	なし	○	なし			・東成区は「モノづくり」にスポットをあて、「東成こどもモノづくり体験フェスタ」や「わが町工場見てみ隊」等の取組みを行っています。 ・東成区が「モノづくりのまち」だと、より知ってもらえるよう、今後もこれらの取組み等を広報紙で周知するとともに、SNS等も活用した情報発信に努めます。
5	にぎわい・きずな部会	区役所力について、区役所の1階待合スペースにテレビを置いて動画を流せば、待っている方がそれを見るので、より効果的に情報発信ができるのではないか。	藤溪委員ほか1名 [井上委員]	総務課		なし	○	あり			・現在、区役所1階の窓口サービス課待合スペースでは、お呼び出し用の電子番号表示と併せて民間事業者の広告（静止画）を表示しています。また、1階の市民協働ステーション「ふれ愛パンジー」では、東成区のモノづくりの魅力や地域活動協議会等の活動を紹介する動画を流しています。 ・今後は、窓口サービス課の待合スペースにおいても区の取組みを動画で流すなど、いただいたご意見を参考に検討します。
6	にぎわい・きずな部会	防犯カメラについて、これまでの設置場所は主に通学路や商店街の通りが多いが、東成区は細い道路が多いので、そういった細い、狭い道路にもつけていただきたい。	東方委員	市民協働課	○	有り		なし			・子どものための見守りカメラとしてこれまで各小学校に設置してきました。公園や道路については限りある予算のなかで警察の犯罪発生状況などをもとに優先順位を勘案し、また通学路については地域状況を考慮して設置してきました。 ・今後も区役所としましては警察や地域と連携して防犯活動に取り組みます。
7	にぎわい・きずな部会	防災について、大阪北部地震発生時、固定電話、携帯電話はつながらなかったが、LINEはすぐにつながった。今後の災害発生時の情報伝達手段として電話やファックス以外での方法の検討が必要ではないか。	林委員	市民協働課	○	なし	○	なし			・地震や台風等の災害情報については現在、市・区のHPやツイッター等で情報発信を行っています。6月18日に発生した大阪府北部地震では、携帯・固定電話のいずれもが繋がりにくい状態となったものの、LINE等のSNSを利用して連絡を取り合った方も多かった様です。 ・こうした結果を踏まえ、今後、LINE等のSNSを活用した情報伝達手段を検討していきます。
8	子ども・教育部会	学校等との連携強化について、アンケート結果が100%という結果だけを報告されているが、アンケートの設問内容すべてを教えてください。	田中委員ほか3名 [末光委員、東方委員、永門委員]	市民協働課	○	なし	○	なし			・平成30年度第2回区政会議子ども・教育部会開催時に、委員の皆様にはアンケート内容を情報提供します。

平成30年度 区政会議における意見への対応状況

第1回区政会議(平成30年6月)

いただいた意見				対応状況							
番号		意見	委員名	担当課	①		②		③	④	対応内容 (③④の場合は、対応できない具体的な理由)
					30年度対応	予算措置	31年度対応	予算措置	31年度では対応できないが今後引き続き検討	対応困難又は対応不可	
9	子ども・教育 部会	教育環境について、6年生を対象にした平和学習ではアンケートを取っていないとのことだが、受講生アンケート結果、子どもの声を講演者にフィードバックすれば、より良い講演会になっていくのではないかと。	田中委員 ほか1名 [鍋田委員]	市民協働課	○	なし	○	なし			・学校長との意見交換を通じて、受講者の声や学習会の成果などを把握し講演者にフィードバックします。また、学習会の内容についても意見交換を図りながら、より良い講演会になるよう努めます。
10	子ども・教育 部会	子育て支援について、ひがしなりっ子すくすく・つながるクラブ加入店舗がどこにあるのか分かりにくい。ステッカーを貼っていても小さく、店の後ろに貼ってあり見えないので、ステッカーを大きく、ペナントみたいなのにしてほしい。	田中委員 ほか1名 [永門委員]	保健福祉課	○	なし	○	なし			・協賛店になっていただくとステッカーとポスターをお渡しし、店舗に掲示していただくようお願いしていますが、お店の事情によって掲示できなかったり、店内や店先をコーディネートされているためステッカーやポスターが見えにくくなっている場合もあるようです。委員のご指摘も踏まえ、協賛店へは見えやすい場所に掲示してもらうよう再度協力依頼をしているところです。 ・ステッカーの大きさや形の変更については、次の作成時に検討します。
11	子ども・教育 部会	ひがしなりっ子すくすく・つながるクラブについて、クラブ加入店舗をもっと増やしてほしい。例えば、畳屋さんやふすま屋さん、大工さんというようなところまで広げていけるならばお願いしたい。特にスーパーなどはよく買い物をするので加入してもらえよう働きかけをお願いしたい。	田中委員 ほか2名 [東方委員、池田委員]	保健福祉課	○	なし	○	なし			・東成区商店街連盟連合会のご協力のもと、連合会加盟店舗への登録依頼するなど協賛店舗登録勧奨に取組み、平成30年度は新たに7店舗にご登録いただきました。今後も引き続き、さまざまな店舗に協力を依頼します。 ・ひがしなりだよりやFacebook、メールマガジンなどで、協賛店をPRするなど、協賛店になっていただくことのメリットをお伝えしながら、新規登録店舗の拡大に取組みます。
12	子ども・教育 部会	区民が利用しやすく、信頼される役所づくりということで、ひがしなりっ子すくすく・つながるクラブを充実していけば、子どもと一緒に親も来るので、区役所がより身近な存在になっていくのではないかと。	田中委員	保健福祉課	○	なし	○	なし			・区役所はもちろんのこと、地域の子育てサークルや子ども・子育てプラザなどの子育て支援機関をより身近な存在として利用いただくことが、地域社会全体で子育て家庭を支援する環境づくりとなることから、委員ご指摘のとおり今後もより多くの子育て家庭がひがしなりっ子すくすく・つながるクラブに登録・活用いただけるよう、ひがしなりっ子すくすく・つながるクラブの充実に取組みます。
13	保健福祉部会	おまもりネットについて、登録者数の増加という数値目標だけでなく、登録者の情報を医療機関と共有するなど内容の充実が必要ではないかと。	石塚委員 ほか2名 [石川委員、三枝委員]	保健福祉課	○	あり	○	あり			・東成区社会福祉協議会及び地域の支援者で構成する「おまもりネット事業（手帳・カード）ワーキング」において機能やそのあり方を議論し、より一層の内容の充実に努めます。
14	保健福祉部会	おまもりネットについて、日頃、地域とつながりが少ない独居者、特に独身男性への周知方法が課題ではないかと。	石塚委員 ほか1名 [徳永委員]	保健福祉課	○	あり	○	あり			・引き続き個別周知や広報紙等による啓発、各地域イベントやスーパーなどのより身近な場面における広報活動を推進していきます。 ・また、地域の方からのお声を参考に、呼びかけ方や活動内容を工夫し、参加のなかった方や参加の少ない男性方も気軽に参加しやすいきっかけづくりを進めます。
15	保健福祉部会	おまもりネットについて、70歳に到達された方に郵送で周知をしているとのことだが、おまもりネットを持っていたから助かった事例やあって良かったという利用者の声など、メリットももっとPRして、関心を持ってもらうべきではないかと。	石塚委員 ほか2名 [岡倉委員、北村委員]	保健福祉課	○	あり	○	あり			・いただいたご意見を踏まえ、高齢者福祉月間に合わせ、ひがしなりだより9月号におまもりネット事業の利用者の方から寄せられた、「あって良かった」という声を掲載いたしました。 ・今後も区広報紙等での周知に努めます。
16	保健福祉部会	おまもりネットについて、医療機関等との情報の共有とともに、登録されている情報の更新を誰がするのか課題ではないかと。	石塚委員 ほか1名 [林委員]	保健福祉課	○	あり	○	あり			・東成区社会福祉協議会及び地域の支援者で構成する「おまもりネット事業（手帳・カード）ワーキング」において機能やそのあり方を議論し、より一層の内容の充実に努めます。